

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会

2006年度第2回常任幹事会議事要録

日時：2006年12月13日（水）14時～16時20分

場所：名城大学 5階会議室

出席：金城学院大学（鈴木 卓美）

中京大学（中河原 省三）、

愛知淑徳大学（山森 洋之）

中部大学（川勝 照代）

南山大学（栗山 義久、西尾 雅樹）

中京女子大学（黒柳 民夫、三浦 慶嗣、三戸 亮祐）

名城大学（小嶋 伸夫、飼沼 敏雄、小川 明秀） 敬称略

議事に先立ち、理事校名城大学図書館長（小嶋）の挨拶及び館長懇話会についての報告、ならびに出席者の自己紹介が行われた。また議事の進行は理事校名城大学図書館長（小嶋）の公務の都合により、飼沼が担当し、下記の議題を協議した。

1. 報告事項

1) 私立大学図書館協会

監事校南山大学（栗山）より資料（p. 3～4）に基づき、第1回東西合同役員会（2006年9月6日開催）、第2回常任幹事会（2006年12月1日開催）について、以下の報告があり、併せて次期役員校、委員会委員の確認があった。

- ・ 次年度西地区から、新たに2校の加盟申請があった。
- ・ 研究助成について、制度を変更し再募集の結果、3件の申請があった。
- ・ 協会ホームページ委員選出方法の見直しがなされ、西地区は次年度から各地区協議会から1名委員を選出することとなった。

2) 西地区部会

理事校名城大学（飼沼）より資料（p. 11～12）に基づいて西地区部会役員会、総会、研究会について報告があった。西地区総会の場で館長懇話会が行われているが本年度は「図書館職員の配置」というテーマが設けられたため一般の参加者も陪席可能となった。その結果、41名の館長のほか24名の陪席者が参加した旨の報告があった。

3) 国際図書館協力委員会報告

国際図書館協力委員会委員校南山大学（西尾）より資料（p. 13～14）に基づいて、委員会、海外派遣研修、海外集合研修、寄贈資料搬送事業について報告がな

された。なお、例年11月頃に開催されていたシンポジウムは講師のスケジュールにより、今年度中の実施はせず、次年度4月頃に開催できるよう調整中である旨の報告があった。

また、第4回の委員会が2006年12月8日に開催され、今年度第2回の寄贈資料搬送事業において青山学院大学から申請があった旨の追加報告があった。

4) 協会ホームページ委員会報告

協会ホームページ委員会委員校南山大学(栗山)より資料(p.15~16)に基づく報告と、役立つ情報・決定事項等がホームページ上にすばやく掲載できる組織・体制づくりが必要である旨の発言があった。

5) 研究助成委員会報告

研究助成委員会委員校南山大学(栗山)より、第3回委員会(2006年11月30日開催)について、報告が行われた。

6) 東海地区協議会関係

理事校名城大学(飼沼)より資料(p.17)に基づいて報告が行われた。

7) 東海地区協議会研究会

研究会幹事校中部大学(川勝)より資料(p.18~20)に基づき、4回の運営委員会、3回の研究会、1回の研究集会について報告が行われた。

8) 東海地区協議会図書館サービス・システム委員会

図書館サービス・システム委員会委員長校金城学院大学(鈴木)より資料(p.21~25)に基づき、臨時を含め5回の委員会、実務担当者研修会担当者会議、ホームページ担当者会議、3回にわたるシステム・ネットワーク化アンケート担当者会議、並びに図書館実務担当者研修会について報告があった。なお、今年度14大学で運営しているが、3校から来年度の委員の辞退の申し出があった旨の報告があった。

9) 東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議

理事校名城大学(飼沼)より資料(p.26)に基づいて報告が行われた。また、参加アンケートから今年度は昨年度よりグループ別情報交換会を長く設定したことや、関心のあるテーマを選んだことによっておおむね好評であった旨の報告がなされた。

2. 協議事項

1) 2007年度委員校について

理事校名城大学(飼沼)より資料(p.27)に基づいて報告が行われた。

3. その他

1) 東海地区協議会および関連団体2007年度予定表について

理事校名城大学(飼沼)より資料(p.27)に基づいて報告が行われた。

その他、以下の点が報告・協議された。

- 理事校名城大学（飼沼）より資料（p.28）に関連して、2010年に西地区部会の研究会当番校が東海地区の方へ持ち回りで来るので早々に決めておいた方がよいとの提案があり、協議した結果、金城学院大学から研究会当番校を引き受けてもよいとの内諾を得たので、近い将来理事校から正式な要請文書を金城学院大学へ出すことになった。また、2013・14年に西地区部会の会長校が東海地区へ回ってくるが、これについてもできるだけ早い時期に決める必要があるが、従来の慣例からすれば2013・14年に東海地区協議会の理事校を努める愛知学院大学となるが、双方を兼ねることは負担が重くなるので、新たなルールづくりが必要なのではないかと提案が出され今後早急に検討していくこととなった。
- 理事校名城大学（飼沼）より「館灯」の広告掲載について今年度2社（日本電子計算・アサノ）の辞退があった旨の報告があった。なお、「館灯」は現在歴代のものを理事校で保管しているが、1年度で10冊までの保管とすることが決められた。

以上